

迅速熱物性測定装置



迅速熱物性測定装置

カトーテック(株)製 精密迅速熱物性測定装置
KES-F7 サーモラボII型

【主な用途・仕様】

肌が生地に触れた時に、「温かい」「冷たい」と感じる皮膚感覚を”接触冷温感”と称します。肌から生地への熱の移動量によって冷温感の感じ方が異なり、それを評価する指標”qmax”（熱流量ピーク値）を測定する試験機です。

qmax（熱流量ピーク値）：一定温度（30℃）のセンサーを試料に接触させた時の瞬間的な熱の移動量を測定します。

このほか、熱伝導率や保温性の評価も可能です。

熱伝導率：定常熱伝導測定により、一定温度（30℃）の熱板から試料を介し、他の一定温度（20℃）に保たれた熱板への熱の伝わりやすさを測定します。

保温性：一定温度（室温 10℃）に設定した熱板に試料をセットし、空気と接触させ、試料面に一定速度の風を吹きつけます。この時に試料を介して損失した熱量を求め、保温率（%）を算出します。測定方法として、肌と衣服が乾燥状態で直接触れ合った時を想定したドライ法や汗をかいた時を想定したウェット法があります。

【担当部署】 化学材料表面技術部：有機材料グループ

【設備使用の項目・使用料】 ご利用いただけません

【受託試験の項目・手数料】 定量分析（重量法、容量法等）